

令和2年度 青森市水道事業会計 決算報告

【収支の状況】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を軽減するため、一般家庭及び民間事業者の5月検針分の水道料金4億1,585万円を全額免除したことなどから、水道料金収入は前年度比較で4億8,018万円減の49億3,841万円となり、収益的収支では2,107万円の当年度純損失を計上しました。

一方、水道施設の整備や企業債の償還元金等の支出、これに要する資金としての企業債収入等の資本的収支では、財源に27億3,301万円の不足が生じたので、内部留保資金で補てんしました。

【主な事業】

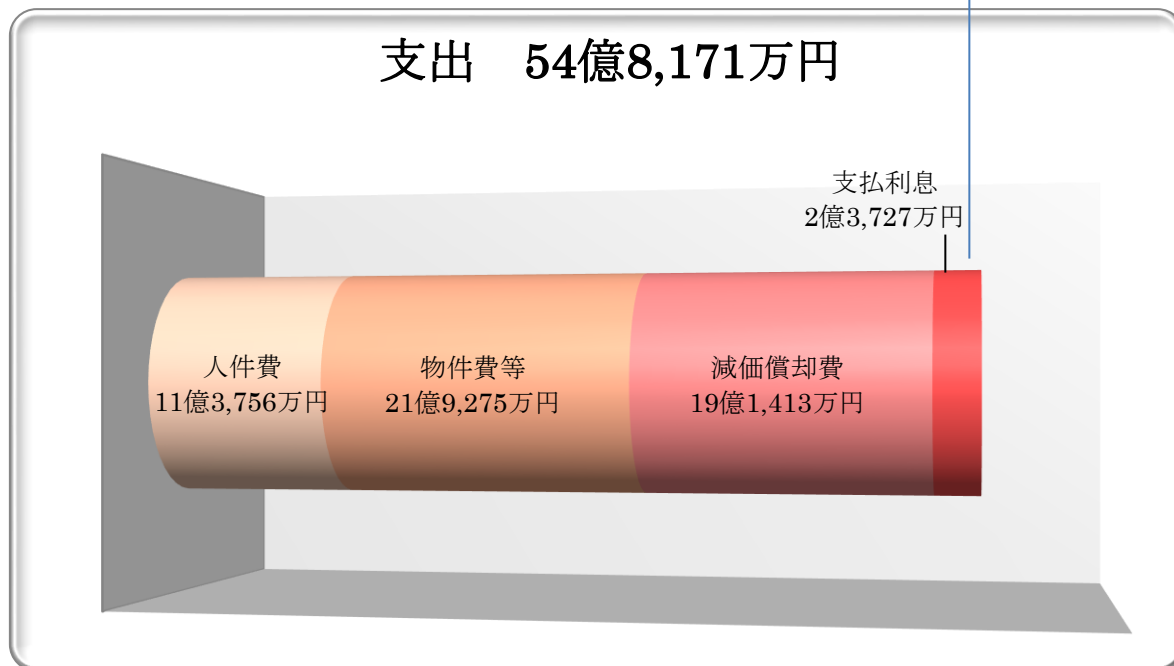
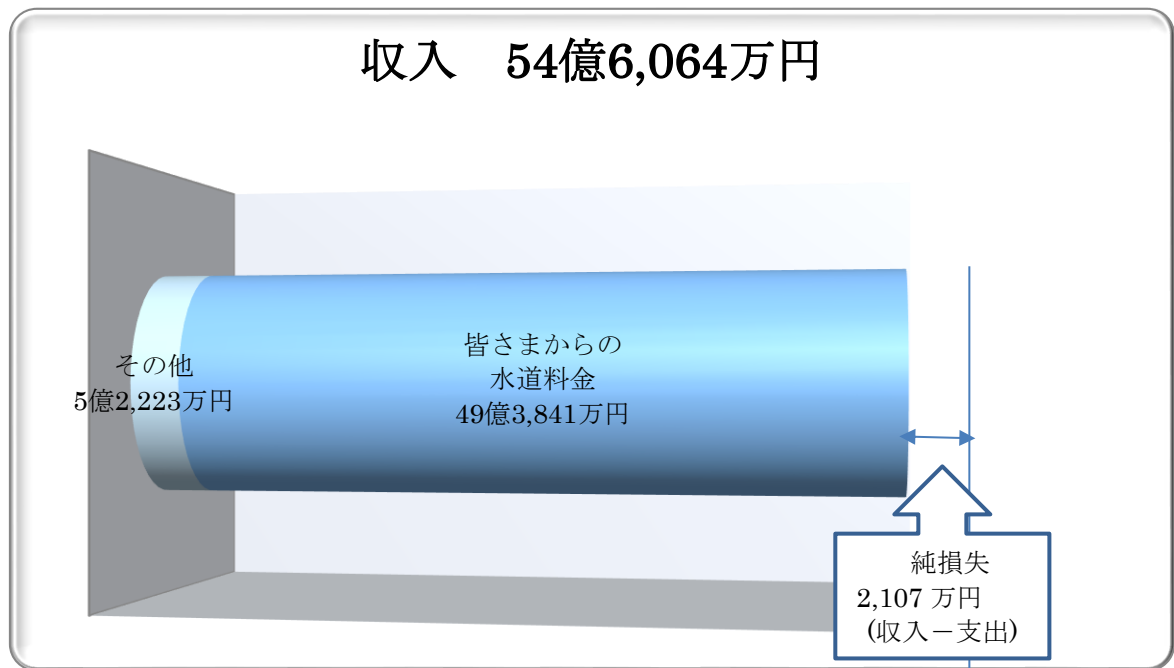
主な事業として、老朽管の更新及び管路の耐震化等として延長15,877mの配水管を布設しました。

また、老朽化と狭隘化が著しい横内浄水場の水質検査室を更新するため2か年計画で行った水質管理センターの建設工事が、当年度で完了しました。

さらに、災害時に備え、老朽化した堤川浄水場の発電機及び受変電設備を更新するために2か年計画で行った工事が、当年度で完了しました。

収益的収支（税抜）

水道水をつくり、ご家庭にお届けするための経費と財源



資本的収支（税抜）

水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源

